

CSR REPORT 2011

 株式会社 東洋製作所



CONTENTS

- 1. トップコミットメント
- 2. 社長とCSR委員との対談
- 3. 環境との和
- 4. 人との和
- 5. 社会との和
- 6. コーポレートガバナンス
コンプライアンス
環境報告

私たちは、冷熱・環境エンジニアリングの 総合力を活かし、CSR活動を推進して まいります。

この度の東日本大震災により、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

東洋製作所グループは「環境との和」「人との和」「社会との和」の3つの和でCSR活動を推進しています。企業にとって利益の追求は存続の使命ですが、企業を取り巻く利害関係者である、お客様、お取引先、従業員、株主、地域社会などの方々の要求に対しても適切に応えられるようにCSR委員会を設置し、意識的にCSR活動を推進しています。

そのような体制の中、当社としての特長的CSR活動は、当社の総合力を活かした社会への貢献です。当社は、「冷熱プラントのエンジニアリング会社」、「機器製造会社」、「アフターサービス会社」といった3つの側面を持った会社です。夫々の分野を専門にし

当社の総合力を活かした特長的CSR活動とは、具体的にはつぎのとおりです。

熱環境を極める企業として エンジニアリング技術力で 社会に貢献します

- 低温技術で食の安全・安心に貢献し豊かな食生活を支える
- 食品製造プロセスの温度制御技術で「うまいものづくり」にチャレンジする
- 環境再現技術で、ものづくり企業が生み出した製品の環境適応性の評価を可能にする

環境保全技術を駆使し 「省エネルギー」と 「地球温暖化防止」に 貢献します

- アンモニア等の自然冷媒を利用した冷凍・冷蔵技術で脱フロン化を推進し温暖化ガス排出を抑制する
- ヒートポンプ技術で、捨てられてきた排熱を活用して省エネを図る
- 大気に排出される二酸化炭素の回収技術で温暖化防止を図る

「熱システムの ライフサイクル」を推進し より快適な生活環境づくりに 貢献します

- 「ものづくり」の拠点大和工場を中心に磨きぬかれた製造技術・技能で冷媒機器、空調機器の品質を作り込む
- 全国20拠点のサービス網でお客様のシステム運用をサポートする

活動に当たっては、3つの「和」で取り組み、熱を極める冷熱・環境エンジニアリングカンパニーとして地球の環境改善と人の快適な生活の両立に寄与する為にこれからも努力を続けてまいります。

環境との和

人との和

社会との和



代表取締役社長 黒川英樹

て事業を営む会社に比べ、現在までは特異な存在であったと思います。

しかしながら、社会が成熟し人口減少期を迎えた日本国内ではこれら機能を一社で纏められる企業は少なく、当社が社会に貢献できるチャンスが到来しつつあると言っても過言ではありません。

この総合力を活かして社会に貢献していくのが、東洋製作所グループの特長的CSR活動です。

私たちは、3つの「和」でCSR活動を推進しています。

社長とCSR委員との対談

●二見 企業には社会貢献を意識した誠実な活動が求められています。その代表がCSRです。本日は黒川社長とCSR委員に、この1年半のCSR活動を振り返ってもらいましょう。

なぜ、CSR活動が必要なのか

●漆原 CSR活動を体験して「CSRは企業が社会に果たさなければならない全ての責任」だと理解できました。

●服部 学生が就職先を選ぶにも積極的にCSR活動を実施している会社かどうかをみています。企業が生き延びるためには必要な活動です。

印象に残ったCSR活動

●南 一番印象に残っているのが、オープンファクトリーです。私が担当したCADでは子供達がゲーム感覚で体感してくれ、非常に好評でした。

●菅原 私もオープンファクトリーが印象に残りました。家族が来れば自分の作業場もきれいにします。ものづくりにも手が抜けません。CSRが浸透するきっかけにもなりました。

●森 当社の事業そのものがCSR活動につながっていることに気づきました。周囲の方に「東洋製作所は環境に優しい会社だ」と思っただけのような広報活動に努めます。

●正村 ポスター制作では清掃活動やペットボトルのキャップを集めるとか普段意識しなかった活動もCSRだと気づきました。

●中本 CSR活動の一環で関西支社周辺の環境美化を進めています。掃除をしていると買い物途中の住民の方から、「掃除ありがとうね」と言ってもらい、うれしくなりCSRの重要性を認識できました。

当社が推進すべきCSR活動

●鈴木 空調機器はオフィスや工場などの快適な環境づくりに貢献していますが、エネルギー消費の削減という課題もあ

り、営業担当の私はお客様に省エネで高効率な空調機器を提案し、当社のエコ製品を社会に広めたいと思っています。

●松尾 私が開発に関わる製品も社会に役立っていることを再認識しました。開発にあたっては、製品機能の向上とともに省電力についても考慮する必要があると感じています。

●漆原 メンテナンス作業では細心の注意を払い安全な質の高い製品・サービスの提供を目指して作業を行っています。

●菅原 東日本大震災の被災者が避難所で厳しい環境の中で生活をされています。冬場や夏場には、当社のスポットクーラーやダイレクトXがあれば避難所でお役に立てるのではと考えています。

●小磯 当社の優れた技術をもっと一般に公開していくことも大切です。自然冷媒冷凍装置C-LTSをはじめとして、もっと社会にアピールすべき技術がたくさんあるはずですよ。

●南 社内浸透をはかるために清掃活動や講習会など周囲を巻き込みCSRの推進に理解を求めていくことが大切です。

●中山 地球温暖化防止や地球環境の改善、独自技術の活用で社会に信頼される企業グループを目指しCSRの取り組みをこれからも強めていかなければなりません。

まとめに代えて

●黒川社長

先日、世界的な食品メーカーの工場竣工式に出席しました。数年前にも同社の別の工場を手がけましたが今回は、COP^(※)が2割ほど高まったと評価されました。当社の技術が進歩した成果です。電気の消費量が減りCO₂の排出量も少なくなりました。当社の技術が社会に貢献しているという事実は意外と知られていません。皆さんとの対談で東洋製作所グループのこれからのCSR活動につながるヒントがたくさん見つかりました。さらなるCSR活動浸透につなげていきましょう。

※COP (成績係数) :冷暖房器具のエネルギー消費効率



●対談参加者

- 代表取締役社長 黒川 英樹
- 取締役管理本部長 二見 昌明
- 総務部 総務課 森 夏紀
- 総務部 人事課 正村 美里
- 総務部 関西総務課 中本 早苗
- 企画経理部 情報システム課 服部 昌弘
- プラント営業部 プラント営業1グループ 小磯 岳雄
- 企画管理部 コスト管理課 南 大翔
- 研究開発部 研究開発課 松尾 理子
- 企画管理部 企画業務課 中山 彩
- 企画管理部 品質管理課 漆原 順
- 機器事業本部 営業グループ 鈴木 智成
- 製造部 品質管理課 菅原 寿樹

環境との和

環境技術で、地球温暖化防止など地球環境の改善を推進します。



自然冷媒を使用した冷却技術で地球環境の保全・省エネを推進

自然冷媒CO₂/NH₃ 冷却システム C-LTSシリーズ

CO₂の排出量を大幅に削減しています。(当社従来比)例えば3,000t冷蔵庫(庫内-25℃)に対応する冷凍設備として、従来の「代替フロン冷却設備」を使用した場合の年間CO₂排出量は232,200kg-CO₂/年。

これに対し「C-LTS自然冷凍設備」を使用した場合の年間CO₂排出量は、199,600kg-CO₂/年。その差は、32,600kg-CO₂/年となり、これは実に、杉の木2,300本が年間に吸収するCO₂量に相当するのです。(注:設置条件・台数等により数値は変わります。)

大分県学校給食総合センター竣工



自然冷媒冷凍機の納入事例

お客様の声



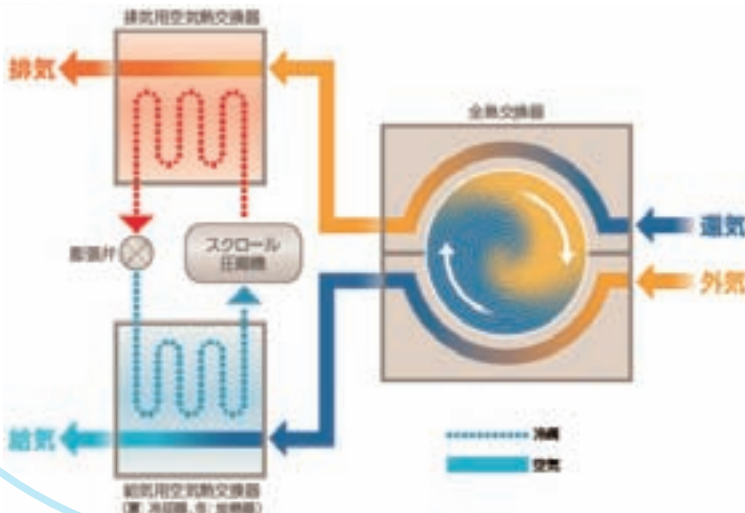
財団法人大分県学校給食会 理事長 阿南 正美様

現在、世界中で環境問題対策を行っています。今回、自然冷媒の冷凍機を採用したことで学校給食としてもその一役を担うことができ、誇りに思っています。また、環境に優しい製品を採用したことで職員の意識改革にもつながります。

ヒートポンプ技術を活用した空調機器で地球環境の保全と省エネに貢献

直膨エアハンドリングユニット ダイレクトXシリーズ

省電力・省スペース・低環境負荷に優れた製品です。1台で新鮮な外気や室内空気を効率的に冷却、加熱、除塵を行う直膨エアハンドリングユニットで全熱交換器とヒートポンプ式による2段階熱回収により、さらに高い熱交換効率を実現しています。



高い省エネルギー性

屋外設置型 スポットクーラー「助っ人」

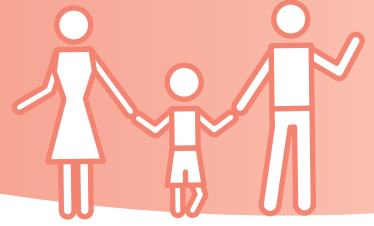


ヒートポンプ技術を使用した、オゾン層破壊係数「0」(新冷媒使用)のエコ製品です。高温多湿な作業環境をムダなく快適空間に改善します。



人との和

次世代を担う人材の育成と、従業員の満足度向上に努めます。



オープンファクトリーで 体感しよう、人と地球に優しいものづくり



1 オリエンテーション
社長挨拶、会社紹介

2 CAD体験
工場の図面を3Dで見ました

3 音響室
残響室と反響室

4 研究設備 人工結晶雪を
触ったり、風洞設備で「-20℃」を体験

5 製造工場 空調機の製造工程を
見学、スポットクーラーで冷風体験

6 食堂
施設の見学

7 クイズ
安全に関するクイズ

8 食事・解散



大和本社で従業員の家族や関係会社を対象に「オープンファクトリー」を開催しました。

来場者の感想

- とても楽しかったです。子供たちは父親が働いている会社を見学できてよかったと思います。
- 働くお父さんの姿を見て、家庭ではもう少しねざらってあげたいと思いました。
- CSRをさらに進めて、次世代、子供たちに残す環境を大切にすることを期待しています。
- さらに新しい環境技術を開発していただくことを期待しています。

オープンファクトリーの見学風景

教育への貢献

東京本社では、地元中学校の要請を受け中学生たちへ社会勉強のための講習を毎年行っています。また、大和本社では例年、職業訓練校の生徒を対象にした工場見学会や大学(高専)生のインターンシップ受け入れも行っています。



地元中学生への講習会



人事課 中田 州拓
正村 美里

働きやすい 職場環境づくり

従業員の働きやすい環境づくりに配慮した諸制度や研修を行っています。



メンタルヘルス講習会

2010年度の主な制度

育児・出産	育児休業制度・育児勤務制度
介護	介護休業制度
その他	傷病休暇積立制度
福利厚生制度	連続休暇取得制度 年休一斉取得制度 退職金・確定拠出年金制度 他諸制度多数
人材育成	階層別研修・職能開発研修 資格取得奨励制度 改善提案制度 指導員制度(OJT制度)
安全衛生	メンタルヘルス・健康診断 安全・衛生講習

社会との和

独自技術の活用と積極的な社会貢献で、社会に信頼をされる企業グループをつくります。



食品プラント研究室を開設

「食品プラント研究室」を開設し、お客様の「食」に対するご要望に、よりきめ細かな対応ができるよう製品開発にむけた取り組みを支援しております。



研究開発課 松尾理子

食品プラント研究室内の様子

ふるさと清掃運動会

全国規模の活動を展開している「ふるさと清掃運動会」に参加し、「各地域の清掃活動」を通じて、地域社会への貢献と社員一人ひとりのCSR意識向上を図るための推進活動を行いました。



東京本社参加者

関西支社
エンジニアリング部技術課
秋嶺隼佑

思った以上に、タバコの吸殻や空き缶が多くて、びっくりしました。ポイ捨てはやめましょう。

2010年度清掃活動実施

東日本大震災への対応

3月11日に発生した東日本大震災により被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

東洋製作所グループは被災されたお客様の設備の復旧を最優先課題と位置づけ、全社を挙げて対応してまいります。

義援金の寄贈

被災地の救援や復興に役立てていただくため、日本赤十字社、大日本水産会などを通じ、当社グループおよび有志による義援金を寄贈しました。

節電対応

当社グループは、大規模停電回避の為、節電を推進しております。大和本社では、冷房温度の設定を高めにすることや工場棟、研究棟などの一部設備に自家発電機を利用し、電力削減に取り組んでいます。

被災地のお客様支援

被災されたお客様の設備の復旧支援に全社を挙げて取り組んでおります。



津波被害で想像を絶する気仙沼の現場で復旧工事にあたった、左からプラント設計1グループ 十ノ目哲也、企画海外業務課 三浦英人、協進産業 久保木社長（撮影：プラント営業1グループ 小篠正慶）

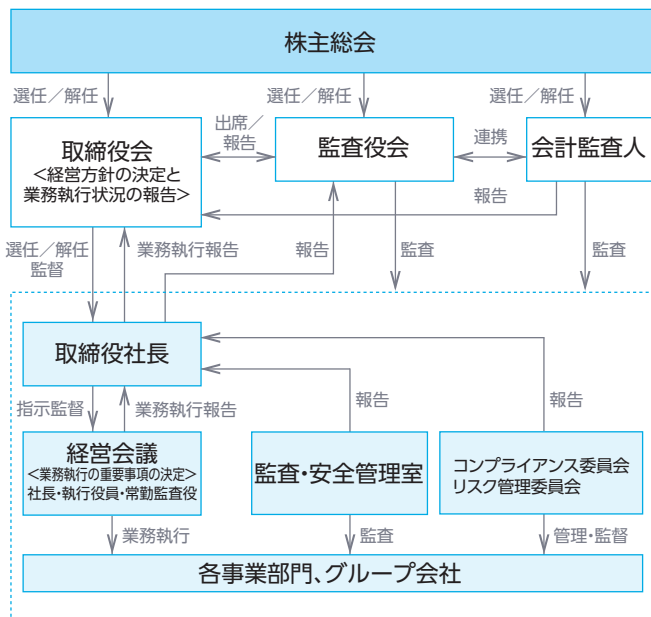
物資支援

被災地区のお客様や事業拠点へ、食料品・日用品や燃料などの物資を搬送しました。

コーポレートガバナンス

- 信頼性の向上・経営の透明性を確保するため、社外取締役および社外監査役を選任。
- 経営方針の決定と業務執行を行う執行役員を明確化するため、執行役員制度を採用。
- 経営に関する重要事項の決定機関として、取締役会を設置し、原則毎月1回開催。
- 経営執行の重要事項の審議機関として、経営会議を設置し原則毎月2回開催。
- 監査役(会)は、取締役会ならびに経営執行における主要な会議に出席し、取締役会および業務機能の監査を実施。
- コンプライアンスやリスクの強化をはかるため、各種教育と指導を監査・安全管理室に集約し効率的な運用を実施。

コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンス

当社は、2004年6月にコンプライアンス委員会を創設し、制度の周知徹底と推進活動に注力してまいりました。また、身の回りの違法行為を通報・相談できる「内部通報窓口」の周知徹底にも努めています。

コンプライアンス指針

I. 事業活動

当社は、安全で品質の高い装置・製品・サービスの提供を通じ、社会に貢献するとともに適法、公正な企業活動を行います。

II. 会社と社会の関係

当社は、「環境方針」に基づき環境保全に努め、企業市民として社会貢献活動に参加し、社会の発展に寄与します。

III. 会社と社員の関係

企業活動を行う上で、社員は公私の区別を明らかにし、法令や社規則を遵守して職務を誠実に遂行します。

環境報告

東洋製作所は、次の環境保全活動を行っています。

- ISO14001認証取得(東京本社・大和本社)
- 環境改善製品の市場投入
「C-LTS」など
- 廃棄物分別の徹底
- エコ・キャップ運動
- 電力デマンドの導入による省エネの推進
- 「チャレンジ25」参加でエコ生活の推進

当社は経済産業省が2010年4月に施行した「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(「省エネ法」)第二種エネルギー管理指定工場(1,500kl以上)には該当しておりません。また、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)の温室効果ガスの排出量(二酸化炭素3,000t以上/年間)についても基準をクリアしております。

※2010年度の全社における実績
エネルギー排出量:原油換算 1,198kl
温室効果ガス排出量:2,608t/年間



株式会社東洋製作所はエコ・キャップ運動に参加しています。



株式会社東洋製作所はチャレンジ25に参加しています。



15014001の認証取得

みどり と ひと ささえる 冷熱技術

食品工場製造機械の 洗浄など

Mr.エコヒート

工場内の排温水から熱エネルギーを回収、
再利用する設備



省エネで快適なエコ空調

ダイレクトX (ヒートポンプ式空調機)

省電力・省スペース・環境負荷低減の空調機器



冷凍食品や肉の保存

C-LTS (炭酸ガス/アンモニア冷凍機)

自然冷媒で環境にやさしい冷却システム



もうひとつの自然を 作り出す

環境試験設備等

地球上のあらゆる気象条件を再現する
環境シミュレーション



ホタテやコロケの冷凍

サーモウェブ“ダッシュ”フリーザー

自然冷媒を使用した
食品凍結・冷却用連続式フリーザー



「お客様によるこびを、 仕事に誇りを」

メンテナンスサービス

高い技術力のサービスエンジニアによる
設備・機器の環境対応力アップ



東洋製作所は、お客様の要望にお応えできる
あらゆる熱環境をつくりだし、

食の安全や快適な生活環境、地球環境保護に貢献します。

株式会社 東洋製作所

本社 〒140-8635 東京都品川区東品川4-11-34
電話 03-3474-2111
URL <http://www.h.toyo-ew.co.jp/>



このレポートは環境に配慮し、適切に管理された森林からの原料を含むFSC®認証紙を使用しています。印刷はベジタブルインキを使用し、有害廃液を排出しない水なし印刷方式を採用しています。